

大阪・船場、
くすりの町の落語会

道修町 たなみん寄席

今回は「学ぶこと」が
テーマだよ！



第3回 「落語は学んだもん勝ち」

笑わせてなんぼの上方落語はウンばかり!? と思いきや、
実は「学び」のための深いヒントが隠されているのです。

落語



笑福亭鶴笑
「餅屋問答」



桂三金
「西行鼓ヶ滝」



桂二葉
「牛ほめ」

講演



高島幸次
(大阪大学招聘教授・
大阪天満宮文化研究所)
「落語にみる学びの極意」

6/16 (土)

2:00PM ~

入場料 1,000円 (資料代込み)

定員 200名 (要申込・先着順)



大阪・船場、くすりの町の落語会

どししょうまち

道修町たなみん寄席

「たなみん」って？

ふわふわで真っ白な毛に覆われた、大きな青い手を持つ妖精。その手でどんな相手でもぎゅっと受け止め、包み込む。

ハグされたものはその心地よさにひとたび眠りにつき、起きたときには病が治っている、こともあるとか。田辺三菱製薬のキャラクターとして活躍中！

人が学ぶために
大切なものとは？
落語で笑っているうちに、
その秘訣が身につきます。

学びにとって大切なのは、教える側の技術でしょうか。それとも学ぶ側の姿勢でしょうか。上方落語には実にいろいろなタイプの登場人物がいます。どんなに優れた教えを受けても、それをトンチンカンにしか理解できない子どもおれば、反対に、教える側の技量のなさを補って余りある学びの力を持った達人も登場します。

笑い転げながら、知らず知らずのうちに学びの秘訣を会得しているかもしれない!? そんな贅沢な至福の時間をお楽しみください。



◎資料(背景写真)について

「中井竹山肖像画」

(大阪大学大学院文学研究科蔵)

ちょっと猫背で恰幅のいい背中では、江戸時代の船場に生まれた学問所「懷徳堂」の第4代学主である中井竹山です。懷徳堂の学風や運営を支える精神的支柱として、弟の履軒たちと共にその最盛期を築きました。竹山が学主を務めた時代には全国から学生が集まり、江戸の昌平坂学問所をしのぐほどとも称されました。噂を聞きつけて立ち寄る文人も多かったそうですから、上方落語の笑いにも通じるような、ユニークな学びの場となっていたのでしょうか。

第3回「落語は学んだもん勝ち」

笑福亭鶴笑「餅屋問答」 桂三金「西行鼓ヶ滝」ほか 高島幸次(講演)「落語にみる学びの極意」

日時 2018年6月16日(土) 2:00PM~4:00PM頃(受付開始1:00PM~)

会場 田辺三菱製薬株式会社

入場料 1,000円(資料代込み) 定員 200名(要申込・先着順) ※定員に達し次第締め切ります。

ハガキ、FAX、もしくはインターネットの申し込みフォームからお申し込みください。

ハガキ、FAXでお申し込みの方は、お名前・ご住所・電話番号・参加人数(応募1通につき4名まで)を明記の上、下記までお送りください。

なお、複数名でご参加希望の場合は、代表者の方の必要事項を明記してください。

〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号 「道修町たなみん寄席」受付係 FAX.06-6484-9678

<https://www.tanamin-yose.net>

道修町の歴史がよくわかる
田辺三菱製薬史料館を
見学いただけます。



◎ご参加までの流れ

①お申し込み

4月24日(火)10:00AMより
インターネット、ハガキ、
FAXで受け付けています。

②受講票発送

5月20日前後から
発送を開始します。

③当日お支払い

当日、会場でお支払いを
お支払いください。

お申し込み先着順に整理番号を発行し、当日はその番号順にご入場いただけます。
整理番号は受講票に記載していますので、必ずご持参ください。

※受付開始時間より前にお越しいただいても、早く入場できるわけではありません。

お問い合わせ ☎06-6484-9677

(道修町たなみん寄席事務局・株式会社140B内)

主催/田辺三菱製薬株式会社 企画・運営/株式会社140B

